

# 特区で働こう!

経済金融活性化特区・ 情報特区の企業数と雇用者数 平成28年7月末現在	
企業数	42社
雇用者数	1,176人

## ～株式会社ティーダワークス～

### 小中学生向け能力開発アプリ制作 名護市出身の宮城さんが携わる

今月の「特区で働こう!」は、みらい1号館に入居する『株式会社ティーダワークス』の宮城喜乃(みやぎ よしの)さんにお話を伺いました。  
宮城さんは、初めての自社開発・配信アプリとなる小中学生向けの能力開発アプリ「ブレインアドベンチャー」の制作責任者として携わりました。

#### 熱意で入社

求職中にハローワークで会社の求人情報を見つけ、IT分野は未経験だったものの「興味があります!」の熱意で入社させてもらいました。  
これまで、携帯コミック制作の2D3D変換制作・スクリプト制作・社内ツール開発など、様々な業務に従事してきました。  
現在は管理職として、皆が円滑に仕事を進められるように気を配ることを重点にしています。

#### チーム理解深まる

初めての自社開発、配信アプリで制作責任者でした。  
自社発のコンテンツを世に出すことを仕事の目標にしていたので、担当を告げられたとき少し涙が出ました。  
制作現場では、新しい事業ということもあり、チーム連携に苦労しました。アプリ制作には、企画チーム、デザインチーム、開発チームというように複数のチームが共同で業務を行いました。それぞれのチームの意見・要望がぶつかり合い、「あちらを立てればこちらが立たず」となることもありました。辛かったです。

この状況を乗り越えるためにとった行動は、「皆で飲みに行く!」でした。  
皆で飲みに行き、思っていることを聞いたり、自分の思いを話したりして、徐々にお互いの理解を深めていきました。  
意見がぶつかっていたのは、「良いアプリを作りたい」というみんなの気持ちからなのだと気づきました。

#### 自信を持って世に送り出す

辛いときを乗り越え、小中学生向け能力開発アプリ「ブレインアドベンチャー」(ブレアド)が完成したときは感慨深かったです。  
ブレアドは全国1300以上の塾で採用されている「パスル道場」という教育教材をアプリ化したものです。頭の中で図形をはじめとした色々なものをイメージしたり、問題を解くための作戦を考えたりすることで、想像力や理解力、考える力が鍛えられます。  
このアプリは、子どもが楽しめ、大人が仕事をやる上でも必要な能力につながるものだと実感しています。制作者から見ても沢山の魅力が詰まったアプリですので、自信を持って世に送り出しています。勉強が苦手な子どもにも興味を持ってもらえたらうれしいです。



アプリ制作メンバー  
(後列左から1番目 宮城さん)



### 会社紹介

株式会社ティーダワークスは、2006年10月に名護市マルチメディア館で業務スタートし、2014年にみらい1号館へ移転。今年で設立10年を迎えます。

現在40人超の社員が、コンテンツ制作事業(携帯コミック制作・アプリ制作・画像制作など)を行っています。

今後も、地元へ根ざしたIT企業として、県内北部地域を中心に、雇用の創出と人材育成に注力しながら事業を拡大していきます。



「ブレインアドベンチャー」  
iPhone & Android版  
配信中国

ご意見・ご感想をお寄せください

お問い合わせ先

金融・情報特区推進室 特定非営利活動法人NDA  
TEL.0980-55-3333 FAX.0980-55-3332  
メールアドレス.info-nda@nda.city.nago.okinawa.jp

WEBでも情報発信しています!

- NDAホームページ  
<http://nda.city.nago.okinawa.jp/>
- 名護市金融・情報特区推進室  
<http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html>

